

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆりのねこどもDayさぼーとⅡ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		2026年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年1 月 26日		2026年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員一人一人が利用者さまと真摯に向き合い、どう支援していくかを考えて、ケア会議を通して利用者さま一人一人にスポットを当てて支援内容を適宜話し合うことができている	短い時間でも利用者さまの行動を振り返る時間を設けて、本人に合った支援内容を話し合うことができている	利用者さまをより理解するために、経過表の書き方を変えたり、ミーティングの時間に利用者さまの特性や障害についてを改めて認識する時間を設けるとともに、職員の負担軽減策も考え、心に余裕のある支援が行える環境づくりをする
2	利用者さまの状況に合わせて臨機応変な対応をしている	予定していた活動内容が困難な状態にある利用者さまがいる場合、状態を確認して臨機応変に活動内容を変更している	利用者さまが、安心・安全にデイでの活動に取り組めるよう、興味関心の幅を広げられる支援内容を職員同士で検討して実践していく
3	定期的な通信など情報発信を適宜行っている	ゆりのね便りや、お知らせのお手紙などを必要に応じて発行し、デイでの活動内容や、デイの情報を利用者さま及び保護者さまにお渡ししている	定期通信の内容をより分かりやすく、職員間で話し合って作成・発行していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者さまと関わりを持つ場が少なく、事業所の取り組んでいる内容がうまく伝わっていない可能性が高い	人手不足が大きな影響を及ぼしていると考えられる。また、保護者会開催を経験したスタッフが現状いないことに起因している	関連事業所やその他関連事業所で行われている保護者会の内容や、進行について調査を行う。また、人員不足を補うための人員確保に向けた取り組みも同時に行っていく
2	職員個々が就業時間内に学ぶ場が少ない	事業所内研修等は行っているが、就業時間内で知識や技術を向上するための外部研修等は実施できておらず、職員個々の知識や技術に偏りがある	事業所内研修はこのまま継続し、今後は外部研修等を行える環境を整え、職員の知識・技術の向上に務める
3	慢性的な人員不足	職員の定着がなく、人の入れ替わりが激しい。	今いる職員のメンタルヘルスなど、定期的に社員面談等を行い、本人の抱える不安や困難さがあれば、解決策をともに考える時間を作れるよう環境を整備する